

### 北海道日本ハム鎌ヶ谷スタジアムと市の振興等について

中村 潤 一 議員

○ ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムの来場者数について伺います。

○ 平成9年開設当時の約2万人が、20年後の平成29年は7万808人となりました。

○ 市民等のスタジアムの野球利用の現状を伺います。

○ 市民等から利用希望がありますが、ファーム選手育成の場であることから野球をするために利用するのは難しい状況です。一方で、試合前後

○ イベントでグラウンドに触れる機会があるほか、年60日ほど見学や開放をしています。

○ 近くに野球をする広場を作ることは出来ませんか。

○ 野球場設置は、市全体の施策の中で優先度を考慮しつつ検討する必要があります。

○ 試合の際等付近の道路は渋滞も多く、駐車場も少ないため、利便向上策を伺います。

○ 公共交通機関の利用を呼びかけ、駐車場不足は球団の

### 2019年度予算について

宮城 登美子 議員

○ 幼児教育の無償化で保育需要のさらなる増加が見込まれ、新たな待機児童が発生するのではと考えます。待機児童や保育士不足解消のための保育士処遇改善を優先すべきと考えますが、見解を伺います。

○ 保育士の人材確保として、給与の引き上げ等により民間事業者と協力の上、保育士確保に加え、離職防止も図って

○ 消費増税は、市財政に負担を求め、市民生活を困難にさらしめると考えます。国策だから口出しはできないという点では、市民を守ることができないと思います。消費増税を中止にの声を国に

### 市内小中学校のエアコン設置の経緯

伊藤 仁 議員

○ 文部科学省はエアコン設置の費用を一教室当たり100万円としており、本市の工事費とは大きな乖離がありますが、その理由を伺います。

○ 文部科学省の定める基準単価は補助金算定のもので、実際に必要となる施工単価とは性質が異なります。なお、本市のエアコン設置費用は他市と比べて、安価なほうになります。

○ エアコンには電気式とガス式がありますが、その選定方法について伺います。

○ 設置費用とランニングコストの総額でガス式が安価となり、原則としてガス式を採用し、都市ガス本管のない学校は電気式を採用しました。

○ 私の計算では、例えばガスの西部小より電気式の道野辺小の方がコストは低いのですが、見解を伺います。

○ トータルコストを平米単価で見ますと、西部小4千559

要請により可能な範囲で協力していきたくと考えています。



日ハムとの連携事業

○ 対して上げるべきと考えますが、市長の見解を伺います。

○ 消費増税の中止を国に求めるつもりはありません。



○ 円、道野辺小3千502円となりますが、学校ごとにガスと電気と比較し、安価となるほうを選択しました。

### 緊急通報システムの利用拡大について

佐藤 誠 議員

○ 緊急通報システムの事業内容について伺います。

○ 市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯、日中独居の方で慢性疾患がある方を対象に、緊急通報装置を貸与するものです。

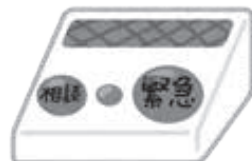
○ 緊急通報システムの利用状況について伺います。

○ 緊急通報装置の貸与を受けている登録者数は40名程度で推移しています。

○ 利用拡大についての取り組み内容を伺います。

○ 市の広報やホームページへの掲載のほか、今後は地域包括支援センターやケアマネジャーなどにも働きかけ、利用拡大を図っていきます。

○ 利用者負担について検討



### 道路行政について

泉川 洋二 議員

○ 新京成線初富7号踏切及び二中付近の市道37号線と4309号線の交差点危険部分の2カ所における危険性の認識と対策について伺います。

○ 当該踏切は上り坂で、見通しが悪い状況に加え幅員が狭小で踏切内ですれ違いができず、歩行者は車両が通過するのを待つて通行するなど、安全対策が必要な踏切と認識しており、対策として踏切の拡幅などの改良が考えられます。また、二中付近の交差点狭小部分は車両のすれ違いができず、車両と歩行者が幅寄せする状況となっており、対策として、狭小な幅員を拡幅し、交差点も含め改良することが考えられます。



### 都市計画における増収策について

三橋 一郎 議員

○ 健全な財政を維持するためには財源の確保が重要と考えますが、見解を伺います。

○ 都市基盤整備として、新京成線の全線高架化、関連側道と駅前広場の計画的な整備などがあり、中長期的には北千葉道路の完成も大いに期待

○ 今後の本市の人口は平成

○ 整備が完成することで、まちの魅力が飛躍的に向上し、新たな企業や店舗等を誘致し、雇用創出にもつながると期待をもちたいと考えています。

### まちづくりから観る空き家対策と空き地対策について

野上 陽子 議員

○ 現在の空き家の状況と管理方法を伺います。

○ 11月26日時点の空家等とされる建物の件数は、1千41件です。空き家は今後もふえる予想されていますが、その一方で解体されるものもあります。これらについては、市民から寄せられる情報、所

○ 有者からの各種相談、さらに職員が定期的に状況を把握して得た情報などにより空き家データベースを常に更新して適切な管理を行っています。

○ 空き家、空き地の対策を講じると同時に、まちの一部としてそれらをどう捉えているのかが大切と考えますが、

### 幼児教育の無償化について

川原 千加子 議員

○ 12月3日の国と地方の協議で示された無償化に関する国の提案内容を伺います。

○ 平成31年10月から平成32年3月までの無償化に係る費用は全額国費負担とすること。また、幼稚園就園奨励費や認可外保育施設等の負担割合の

○ 軽減案が示されました。

○ 国の提案に対し結論を出すための全国市長会の会議に千葉市長会長として出席された清水市長に、要望した内容と会議結果を伺います。

○ 県内市長からの様々な意見を紹介し、また、国の財源

### 自治会活動を取り巻く課題について

土屋 裕彦 議員

○ 市は自治会にどのような役割を求めていますか。

○ 地域の同士助け合って暮らしていくという思いを共有し、住みよい地域を築いていくといった大切な役割を担っているものと認識しています。

○ 自治会の役員のなり手不足に対する市の見解を伺います。

○ 少子高齢化の進展や世帯構成の減少、年金支給開始年齢の引き上げに伴う定年後の勤労世帯や若い世代における共働き世帯の増加などの社会状況の変化による自治会加入世帯の減少が影響しているものと認識しています。

○ 増加する自治会の仕事について、市はどのような認識を持っていますか。

○ 避難所運営訓練、避難行動要支援者の個別支援プランの作成といった大災害への対応など、自治会の地域力の重要性や役割が増大しているものと認識しています。

